

ご 挨拶



一般社団法人
茨城県バスケットボール協会

会 長 岡 田 裕 昭

今年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国規模の対応が迫られる中、各種のイベントを自粛せざるを得ないだけでなく、日常生活や学校生活にも多大な影響が出る中で、バスケットボールファミリーの皆様にも多くの理解と忍従を戴いて参りました。このことに、まずお見舞いと感謝を申し上げます。「東京2020」の延期という想定外の事態まで現実となった今、恒例の協会総会も中止とせざるを得ず、出口はまだまだ不透明であります。皆様とともに考え、歩みを進めて参りたいと存じます。

さて、このたび、多年にわたる功績のごぞいしました薄井宏美前会長の任期満了に伴い、会長選考委員会のご推挙を受け、一般社団法人茨城県バスケットボール協会会長（代表理事）に就任いたしました岡田裕昭でございます。これまでは社会人連盟会長、そして県協会副会長として務めて参りましたが、改めてよろしくお願いいたします。

ご存じのとおり、令和最初の年となった昨年は、天皇陛下御即位記念の大会として第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」が茨城で開催されました。多くの皆様のご支援とご協力により、茨城県は45年ぶりに2度目の天皇・皇后両賜杯を獲得するという輝かしい成績をあげることが出来ました。

バスケットボール競技においても、本県勢は、成年男子・準優勝、少年男子・第3位、成年女子・第5位と健闘し、競技別成績で第2位を獲得することが出来ました。残念ながら少年女子は1回戦で敗れはしたものの、長崎県に2点差まで迫る、素晴らしい戦いをしてくれました。長年にわたり選手強化に取り組まれた、茨城県競技力向上委員会と各種別のスタッフ及び協会関係者の皆様、そして競技会場を引き受け、物心両面において多大なる支援を戴いた日立市・水戸市実行委員会の皆様にも、心からの感謝と敬意を表します。

「ゆめ国体」に続く「ゆめ大会」(全国障害者スポーツ大会)についても、つくば市・水戸市を会場に準備を進めていただいておりますが、台風19号の直撃という自然災害に見舞われ、全競技中止のやむなきに至りました。無念の涙をのんだのは選手・スタッフだけではありません。各位の心中は察して余りあるものと存じますが、事前事後の対応にも深く感謝申し上げます。

ところで、日本バスケットボール協会はF I B Aからの制裁・指導を受け、現在さまざまな改革を進めています。茨城県バスケットボール協会も、2016年4月から一般社団法人としてさまざまな変革にチャレンジしてきました。しかし、未だ改革は道半ばでありバスケットボール界発展のため、更なる挑戦をしていかなければなりません。私は、バスケットボール競技者としての素晴らしい成績はありませんが、バスケットボールを愛する者の一人として、多くの方々がバスケットボールを楽しめるよう協会運営をしてみたいです。

また、法人としてのガバナンス強化を図らなければなりません。今年度からバスケットボール関係者以外の方にも理事に就任していただきました。ガバナンス強化のためには、専門性以外のさまざまな要素が必要となります。そのためにも、役員の方々とコミュニケーションを大事に、協力し合いながら協会の運営に努めてまいります。

最後に、茨城県バスケットボール協会に関わる、社会人連盟・U18部会・U15部会・U12部会の方々、審判員並びにバスケットボール愛好者の皆様の、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、会長就任のご挨拶といたします。